医療連携
つつじ
第　4　号
平成15年6月1日

発行　社会保険中央総合病院　　新宿区百人町３－２２－１
http://www.shahochu.com/

医療連携室TEL＆FAX　０３－３３６４－０３６６

脳ドック　―　脳神経外科紹介

脳神経外科部長
古　場　群　巳

１．「脳ドック」の目的

脳卒中の一次予防・二次予防を目的として、本院は平成５年より「脳ドック」を開設しました。脳卒中は「動脈硬化」と密接に関係していることが解ってきましたので、「人間ドック」の検査項目の中で「動脈硬化」に関係した項目、例えば、コレステロール値が高い、血糖値が高い、尿酸値が高い方は、「脳ドック」の各種の検査で画像上での「動脈硬化」の変化の程度を知ることが大切です。

２．検査項目と内容

1) ＭＲＩ（1.5T）（磁気共鳴装置を使っての脳の断層画像）１スライスが5mmで23画像になり条件を変えて（T1・T2・プロトン密度）３枚撮影しています。

2) ＭＲＡ(1.5T)（磁気共鳴装置を使っての脳血管撮影）大脳・小脳・脳幹部など脳を栄養する血管をほぼ全部12度の角度を変えながら、側面～斜～正面、上方から、下方から、あらゆる方向より血管の全周を観察します。12画像で５枚撮影しています。

3) 頸動脈エコー（超音波）

超音波診断装置（Ｂスコープ、パルスドプラー法）を使用し、頚動脈（心臓から脳の間の血管で、動脈硬化が比較的早く出現し、この検査でその程度が観察される。）の動脈硬化性変化・狭窄・閉塞・アテローム（粥腫）・潰瘍の発見、血流の状態、椎骨動脈の走行状態などが判ります。また甲状腺腫瘍も発見されています。

4) かなひろいテスト（大脳高次テスト）

２分の時間内に、短い物語の中から「あ・い・う・え・お」の５文字を拾い出すテストです。大脳高次テストの中でも比較的短時間にボケ・痴呆の痴呆の情報を得ることが出来る検査です。

5) 血液検査

血液中で「動脈硬化」に関係する項目、総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、血糖、尿酸など

6) 血圧・心電図検査

高血圧、不整脈（特殊な不整脈）は脳卒中の重大な危険因子です。

３．コース別案内

毎日（土、日、祝・祭日以外）2～６名受付けています。

予約受付　健康管理センター　℡０３－３３６４－０２５１　内線２４８１～２４８３

Ａコース（56,000円）問診・診察＋1.～4.　Ｂコース（60,000円）問診・診察＋1.～6.

Ｃコース（28,000円）1.～2.

＊一泊ドックの方に、オプションとしてＣコースも追加できます。

結果は郵送し、希望者、再検を要する方は、担当医が（火）（金）の午後、説明します。

診療科紹介

腎臓内科・透析科

腎臓内科・透析科部長
篠田俊雄

スタッフは部長（昭和51年卒、平成11年6月着任）と吉本宏医師（平成5年卒）、東京大学腎・内分泌内科から派遣のレジデント（卒後3年目）1名の計3名で運営しています。

小規模な内科ですが、下記のような幅広い医療を行っております。

日本腎臓学会、日本透析医学会、日本アフェレシス学会の認定（研修）施設であり、篠田は日本腎臓学会と日本透析医学会の評議員、日本アフェレシス学会の特別理事を委嘱されています。これらの疾患でお困りの際はお気軽にご相談下さい。

主な診療内容

1. 腎炎やネフローゼ、腎不全、糖尿病性腎症（糖尿病・内分泌内科と連携）
2. 電解質異常、酸・塩基平衡障害
3. 難治性高血圧症（循環器内科、糖尿病・内分泌内科と連携）
4. 血液透析（45床）、腹膜透析
5. 血漿交換療法、とくに重症・難治性の潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法（消化器内科と協力）
6. 維持透析患者の合併症治療（関係各科と協力して狭心症、C型肝炎、白内障、痔疾、癌など）

ご紹介は月曜日（篠田）・水曜日（吉本）・金曜日（篠田）午前の腎臓外来、または木曜日（篠田）午前の初診外来へお願いします。診療情報提供書は簡易なもので結構ですのでぜひご持参下さい。電話（3364-0251）やFAX（3364-5663）によるご相談（篠田）は常時お引き受けいたします。近隣の国立国際医療センター、都立大久保病院、中野総合病院、河北総合病院、佼成病院、東京女子医科大学、東京医科大学、慶應大学と協力して、地域医療における腎臓病の基幹病院としての機能を果たしていく所存です。

当院の透析医療の歴史は古く、昭和47年から血液透析療法を行っています。昭和62年に新病院となってからは血液透析用病床45床となり、総合病院としては比較的大規模な運営をしています。透析医療は発足当時から瀬田克孝名誉院長のご指導で、血漿交換療法は故井上昇副院長（元日本アフェレシス学会理事長）のご指導で発展してきました。透析医療と血漿交換療法、きめ細やかな腎臓病診療を3本柱として地域医療に貢献したいと考えていますので、ぜひ宜しくお願いいたします。